

## 「製造業×高校生＝専北生と共創するワクワクする未来」 ～対話とチャレンジをとoshitemoのづくりの価値を共有する～

### ○エントリー団体

北上ネットワーク・フォーラム(略称 K.N.F)

### ○コラボメンバー(役割分担)

専修大学北上高等学校

：対話の場づくり・講座開催・高校生派遣

いわてデジタルエンジニア育成センター

：3DCAD 指導



### ○事業への思い・解決したい課題

地元企業が多く集まる北上ネットワーク・フォーラム(略称:K.N.F)が高校生とつながることで、より若い世代にも北上市のものづくりとそこで働く人たちを知ってもらい、地元企業やものづくりへの興味・関心をひろげていきたい。

### ○コラボの経緯

きっかけは、北上ネットワーク・フォーラムの定期総会へ北上市内の高校へ参加招待をしたところ、唯一、専修大学北上高校に参加いただきました。昨年より校舎の改築、サッカー場の人工芝化、学科名の変更等、様々な改革をしてきた中、今後の社会で活躍できる『人材』を育てるべく、地域企業とのコミュニケーションの場を模索していたところ、K.N.Fの活動実績に着目してもらうことができ、学校側から多様な学びを提供する場「専北塾」で、地域の事業者と連携した講座や取り組みを実施したいということから事業がスタートしました。

### ○具体的な取り組み内容

・地元で働く女性と高校生とのおしゃべり交流会を開催

昨年に働く女性同士で日々の職場の環境やお悩みなどをおしゃべりしてもらいながら、新たな学び・気付きの場となる交流会を開催しました。今年は高校生との交流の場を設け、高校生のお悩みを聞いたりなど、世代を超えた相互理解を深め、共感や新しい視点を得られる機会となりました。

・高校生がつくるオリジナルミニ四駆で第4回製造業対抗ミニ四駆大会へ出場

大会出場に向け、今年度より自動車科から科名を新しくスタートしたメカニックエンジニアリング科の1年生に当団体関係者が講師となり、3DCAD 講座を開催しました。大会に出場を希望する生徒2名に更に指導を行い、自ら3DCAD で設計したミニ四駆のボディを3D プリンタで製作。実際に大阪に生徒が出向いて大会に参加。大会ではマシンが動かないアクシデントなどがありましたが、成功と失敗を学ぶことができ、審査員からの特別賞も受賞しました。

### ○コラボの効果

・交流会では、高校生側の効果として、親でも先生でもない関係性、かつ地元で働く女性との対話を通して、働く中での喜びや大変さ悩み等をリアルに知り得ることができたと思います。このことは、漠然としていたであろう自分自身が働くイメージや地元で働くということ、これから先どうしていきたいか等、将来ビジョンを描く一助となりました。一方、働く女性側の効果として、自分自身の働いてきた中での嬉しかったこと、辛かったことを話す、そして高校生に聞いてもらうワークをしたことで、自身の働く価値観の確認や働きやすい職場づくりについて向き合うきっかけとなり、さらに自分の企業についても知ってもらう場になりました。

・ミニ四駆大会では、設計から使用される状態まで、まさにモノづくりの一連の流れを生徒たちの力で実施・体験できたことは、モノづくりを地域の基盤産業と位置付ける北上市にとって「将来へ向けた人材育成」の点から非常に興味深い取り組みになったと思います。大会開催地が大阪ということもあり、北上市から企業と高校生が出向いたことは他地域においても注目度が高く、大会前に新聞・テレビなどで取り上げてもらい、終了後にも問合せがあるなど、良いPRにもなりました。

### ○今後の展開

今後も継続した取り組みを行うとともに、より若い世代に地元企業を知ってもらい、社会で働くことについての情報交換ができる交流の場づくりやものづくり体験、工場見学の機会をつくっていききたいと思います。